

# 行動変容のための ポジティブ・デビエンス ～ 成果と可能性 ～

日時 2015年11月14日(土) 13:00～17:00

会場 東京大学本郷キャンパス 医学部2号館3階大講堂(予定)

参加料 無料(要事前申し込み)

## プログラム(予定、日英通訳あり)

- 基調講演** モニク・スターニン氏 タフツ大学栄養科学政策大学院  
(*The Power of Positive Deviance* 共著者)
- 報告** 岡 檀氏 和歌山県立医科大学保健看護学部  
(「生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由(わけ)がある」著者)
- 岡田 誠氏 富士通研究所  
(「旅のことば：認知症とともによりよく生きるためのヒント」共著者)
- 神馬 征峰 東京大学大学院医学系研究科 他  
(都合により変更となる場合がございます。)

## 参加お申し込み

参加ご希望の方は、以下のアドレスまたはFAXで、氏名・所属とともに、「11月14日セミナー参加希望」と申し添えてお申し込み下さい。

Web: [www.ich.m.u-tokyo.ac.jp/event.html](http://www.ich.m.u-tokyo.ac.jp/event.html)  
Email: [adm.seminar.cgh@gmail.com](mailto:adm.seminar.cgh@gmail.com)  
Fax: 03(5841)3422

## ポジティブ・デビエンスとは？

貧困や病気、偏見など厳しい環境のもとでも、優れた工夫や実践を通じて、生きいきと健康に生活している人々がいます。ポジティブ・デビエンスは、当事者同士が優れた工夫や実践を見つけ、解決策を探るアプローチです。

## 同時開催：実務者ワークショップ

2015年11月13日(金) 9:00～17:00  
東京大学本郷キャンパス 医学部教育研究棟  
13階第6セミナー室  
(ポジティブ・デビエンスを通じた問題解決手法を具体的に学ぶワークショップです。)

